

1. 本試験答案作成の目的

本試験問題の答案の添削も行います（添削の対象となる事例は平成25年から29年までの5カ年分です）。本試験問題も再答案学習と同じく答案作成力を高めることを目的として取り組むことが学習効果を高めると考えます。80分の制限時間を設けずに取り組み、今の自分の最高の答案を作成してください。

2. 本試験答案作成の注意点（本試験答案の提出は各事例1回になります）

本試験問題への取り組みは、次の方法（手順）が最も効果的と考えます。本試験の答案は、以下の手順で取り組んだ答案を提出してください。

- ①始めに80分で事例問題に取り組みます。（この段階では答案を提出しません）
- ②解答・解説集等を参考に、自分の答案に不足している視点や内容を確認します。この段階で、自分で、不足している視点や内容に気づける『目利き』を強化します。そして不足している視点や内容を踏まえ、再度、答案を作成・修正します。この確認・修正が答案作成の実力を大きく高めます。
- ③答案は、1～数日寝かせ、再度、答案を自分で読み直します。この段階で、自分で、自分の文章の伝わり易さをチェックします。伝わり難い個所があった場合は、それを修正します。修正し終えた段階の答案、つまり、確実に80点に到達していると考えられる自分の最高の答案を提出し、採点・添削を受けます。MMCでは、受験生自身では気づき難い、読みやすさや伝わり易さ等を中心にチェックします。

※本試験答案の採点は、単なる腕試し的に取り組んだ答案は採点いたしかねますのでご注意ください。

- ・本試験答案（過去問）の提出締め切り（アップロード締め切り）は、平成30年7月2日17:00迄となります。
- ・答案用紙は、MMCホームページよりダウンロードし、所定の解答用紙を使って提出ください。MMC以外の解答用紙や原稿用紙を利用した答案は採点できません。（MMCホームページの最下部にある「ダウンロード」をクリックし解答用紙入手ください）
- ・財務事例の計算問題の数値は、再答案の提出と同じく、必ず正しい数値を記入し赤ペンで○印をつけてから提出ください。

◎再答案や本試験問題への取り組みは、「作成と提出」を最終的な目的とするのではなく、そこで得られた「コツや技術」を自分の「武器や鉄則」として標準展開できるように、サブノートなどに整理することをお勧めします。再答案や本試験問題の最終的な目的は、特定の事例を完全攻略することではなく、「自分の答案作成力の向上」と「そこで培った技術の標準化・安定化」、つまり「本試験で安定した実力を発揮するための技術の構築」にあります。